

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園大森北園
クラス	2歳児クラス/うさぎ組

1. 活動テーマ

【テーマ】

絵本 ぱびぷぺぽーず

【テーマの設定理由】

絵本を見るのが大好きなクラスである。
体を動かすこともとても好きなの、真似やすい動きのある絵本を選択してみた。

2. 活動スケジュール

- 1回目 8月25日(月) : 絵本読み聞かせ
- 2回目 9月10日(水) : 制作遊び
- 3回目 9月24日(水) : 運動遊び
- 4回目 10月18日(土) : いっしょにあそぼう会

3, 探究活動の実践①

【活動の内容】 8月25日(月)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

・保育者が絵本を用意すると新しいものだと気づきすぐに注目する。「なにー?」「よんでー!」と期待を持った様子があった。読み聞かせを始めると保育者に続いて「ぱっ!」「びっ!」などと真似をしたり、笑顔を浮かべながら絵本の中の忍者を真似て両手を広げたり、頬を指差し遊ぶ。



4, 保護者への共有

送迎時に口頭で伝えたり、連絡帳に記入して情報を共有した。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

・繰り返しのある絵本なのでページをめくるタイミングを意識した。最後まで集中して見られるよう、ゆっくり読んでページをめくっていくことで期待を持たせることが出来た。

3, 探究活動の実践②

【活動の内容】 9月10日(水)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり

準備：絵本「ぱぴぷぺぽーず」、色画用紙、カラーシール、輪ゴム、ホチキス、セロテープ

お気に入りの「ぱぴぷぺぽーず」の絵本を、子どもたち同士で一緒に読んで、「これは、ぱーっ。」「ぽーず。」などと会話を楽しみながら読み進めている。

絵本に出てくる忍者のように、手首に巻く飾りを作ろうということで、長方形の色画用紙にキラキラしたシールを貼って飾り作りを始めた。

「このシールにする。」「どれにしようかなあ。」「このシールにしようかな。」色とりどりの飾りが完成した。



4, 保護者への共有

保育室の出入り口に、読んだ絵本と子どもたちの反応を紙に書いたり写真を載せ 保護者に知らせた。(コドモン ドキュメンテーション掲示)

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

絵本を見ながら制作を行うことで、よりイメージを持ちながら楽しんで活動することが出来た。子どもの気づきや発見に共感したり、肯定することの大切さを改めて認識できた。今後の保育の様々な場面でも子どもの声に耳を傾けていきたい。

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 9月24日(水)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

準備：絵本「ぱぴぷぺぽーず」、トンネル、巧技台、マット、平均台
絵本を読んでから、登場してくる忍者の真似をして忍者ごっこをするため、トンネル、巧技台、平均台を準備して運動あそびをする。
絵本に出てくる「ぱーっ。」「ポーズ。」「ぱぴぷぺぽーず。」などの言葉を発しながら、忍者の修業ごっこを楽しんだ。



4, 保護者への共有

保育室の出入り口に、読んだ絵本の写真や子どもたちの運動遊びの様子を紙に書いたりして保護者に知らせた。(コドモン ドキュメンテーション掲示)

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

一本橋やトンネル、ジャンプ台を使っての運動遊びを行う。子どもの発達に合った内容で、楽しみながら何度も繰り返し遊ぶ姿が見られたので良かった。絵本に合わせ「ぱぴぷぺぽーずの」と声掛けすると、より楽しめるようになるのではと感じた。

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 10月18日(土)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

・近隣の小学校の体育館でいっしょにあそぼう会を実施する。普段と違う場所や人の多さに驚いたり、緊張して保護者にしがみついたりする子がいた。事前に自分たちで制作した腕飾りをつけ保護者に笑顔を見せたり、競技中は一本橋を渡ったりフラフープの中に保護者と一緒に入ったりするのを楽しむ姿があった。



4, 保護者への共有

・事前に日時や内容などを口頭や手紙で伝え、いっしょにあそぼう会に参加してもらい、親子で競技に挑戦してもらった。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

・読み聞かせから制作や運動あそびへと遊びが発展していく様子を、掲示物等を用いて保護者へ共有しながら進めることが出来た。いっしょにあそぼう会では子どもと保護者、保育者が一体となり楽しむことができ、思い出に残る時間を過ごせた。